



発行人 福島県教職員組合
 発行所 福島市上浜町10-38 電話024-522-6141
 (定価一部 20円)
 編集・責任者 瀬戸禎子
 e-mail : ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp
 https://www.f-t-u.or.jp
 (この購読料は組合費に含まれています。)

総合共済
 業務中や日常生活の
 賠償リスクの備えに!!
 (自転車保険としても役に立ちます)
 隨時募集中
教職員共済

仲間と学ぶって、いいね! ~青年部学習会~



11月22日、「県青年教育労働者教育研究集会」を郡山カルチャーパーク内のカルチャーセンターにて開催しました。

午前中の講演では、高橋尚幸さん（会津若松ザベリオ学園小学校校長）を講師に迎え、「流動的『学び合い』を通した学級づくり」について講演をいただきました。「学校は学習内容を身に付けるだけでなく、自分の『同僚（≠友達）』を得る方法を学べる場」、「私たち自身が『平和で民主的な社会の構成者』として行動することが子どもたちにも伝わる」と伺い、実際に『学び合い』を体験する場面ではグループ内で活発な意見交換が行われました。参加者の感想として、「講演を聞きながら日頃の子どもへの関わり方をふりかえることができた。」「難しそうと感じたが、子どもたちの意欲を大切に活動できるように取り組んでいきたい。」などの声がありました。



みんなと一緒に考えるって楽しいな



数々のスーパー?プレイが生まれました

午後のスポーツレク交流会では、スポーツが得意な青年部常任委員を講師として、様々な運動を体験しました。県内の小学校でとりくまれている運動身体づくりプログラムの体験では、思った以上に難しくあちこちから「つらい!」「え?どうやるの?」という声が聞こえました。その後、円陣バスやリレー、卓球などを通して交流を深めることができました。

これからも現場の青年の声をもとに、持続可能な運動をめざしていきます。

みんなで護ろう! わたしたちの憲法 (第62回護憲集会)

11月8日～10日、「憲法理念の実現をめざす第62回大会」(第62回護憲大会)が神奈川県で開催されました。これは、日本国憲法の理念の実現と擁護を目的として、毎年開催されている全国集会です。

1日めのメイン企画は、「戦後日本は、どう人権を育んできたのか」をテーマに、山花郁夫さん（衆議院議員）・阿久澤麻理子さん（大阪公立大学）・海渡双葉さん（弁護士）によるシンポジウムが行われました。政治・

教育・司法と3つの立場から考える「人権」の現状や課題について話され、特に阿久澤さんからは、「人権が『権利』として理解されていないのでは。競争社会は、『人権』を見えにくくする。知らず知らずのうちに『人権』が奪われている（同時に自分自身が奪っているかもしれない）ことの恐怖に気づかなければならぬ。」という言葉に、はっと気づかされました。

2日めはフィールドワークと分科会が行われました。福島県教組からの参加があったものを紹介します。

厚木基地・キャンプ座間フィールドワーク

一般の住宅がある地域に隣接するように、米軍の基地やキャンプがおかかれている現状は地図でも分かるが、実際にその場に行き、「これがもし自分の家の近所だったら」と思うと、改めて危機感を覚えた。戦闘機の離着陸時の爆音などが、住民の生活にも大きな影響を及ぼしている。訴訟団のみさんがガイドを務めてくださり、基地の問題や訴訟の現状などをお話しいただいた。



キャンプ座間の入口

横須賀軍港クルーズフィールドワーク

横須賀には、米軍基地と自衛隊基地が隣接していて、民間の観光クルーズの中では説明がされない弾薬庫など危険な施設も設置されている。米軍の空母だけでなく、イギリスなどの戦艦も停泊していることがある。横須賀では1946年から反基地運動の活動を開始し、現在は神奈川平和運動センターを中心に署名運動や抗議活動を続けている。横須賀の基地問題も自分ごととして考えたフィールドワークだった。



横須賀港のアメリカ軍駆逐艦

4年連続の月給、ボーナス引上げ！

月例給の1万円以上引上げは2年連続、引き上げ幅は平成以降2番目の高さ

県教組は、11月5日、17日の2回にわたって、福島県教育委員会と交渉を行いました。賃金面では、月例給・ボーナスの引き上げを人事委員会勧告通り実施し、12月末の差額支給となることを確認しました。しかし、給特法の改正による手当・調整額の引き下げについては合意に至らず、来年度実施予定とされている特別支援担当調整額引き下げと合わせ継続となりました。その他も含めた結果は以下の通りです。

【月例給】若年層に重点を置きつつ、すべての号給の給料月額引上げ（平均11,165円（+2.97%））

【ボーナス】期末手当・勤勉手当0.05月分引上げ（期末手当・勤勉手当それぞれ0.025月ずつ配分）

年間支給月数は4.65月分

【通勤手当】支給額見直しは無し。支給区分を100kmまで拡大

駐車場に関わる手当として5,000円を上限に支給

【手当・調整額】（継続）

教職調整額：4%→5% 義務特手当：1.5%→1.0% 多学年学級担当手当：廃止

担任手当：1学級当たり3,000円 公務分掌上、担任となっている方に支給

（副担任は含まれない。複数担任などの場合は3,000円を案分）

賃金のない
ところに
労働なし！



教師の待遇改善と言っていたが、実際は減らされる手当もあり、付け替えに過ぎない。担任手当について、担任業務はチーム学校として支えているもの。また、来年度には特別支援担当調整額が引き下げられるが、現在この調整額を受け取っていない教員がいるにもかかわらず、特別支援学級担任は担任手当の対象外。全教職員に相応額を支給すべき！

【交渉での確認事項・明らかになったこと】

深刻な人員不足

交渉において現在の人員不足の状況を確認したところ、小学校：教諭67人、養護教諭3人、事務職員1人、栄養教職員1人。中学校：教諭32人、養護教諭3人、事務職員1人（25.9.1現在）との回答。しかし実際には加配の未配置も多く、地区による偏りも非常に大きい（特に福島、郡山に集中している）のが現状です。

教員採用試験

教員採用も現在では実施時期の早期化により複数受験・複数合格が容易になり、その中で福島県が選ばれるためにどのような手立て・働きかけを行うのか回答を求めました。これまで「やりがいアピール」に終始していましたが、今回は募集要項内に給与面・福利厚生面などを詳しく掲載することで働きやすさを伝えるとの回答があり、幾分の進捗はありました。しかし、県がこれまで以上に働き方改革を推進し実績を上げ、人事異動に関しての見直し（地区経験・広域移動など）を進めることで、現在以上に福島県を希望する方は増えるはずです。これまで訴えてきた奨学金返済に対しての補助とあわせ、「選ばれる福島県」となるよう引き続き求めていきます

代替・補充者対策

代替・補充者の速やかな配置について、現在行われている先行配置だけでなく、あらかじめ多く採用しておき、必要に応じて配置換えをすることで迅速に対応できるようにすることを求めました。

学校の働き方改革

9月に出された「教員の勤務実態調査結果」「教職員働き方改革アクションプラン取組状況調査結果」をもとに、県教委と労基法での休憩時間のとらえ方が違うこと（本来は職場を離れるなど労働から解放される自由な時間）や部活動に従事する教員の割合が実際と乖離している点（平日に部活動に従事した教員の割合50%?）などについて見解を求めました。その回答の中で、小学校職員に比べ中学校職員の時間外勤務が多い状況の要因として「部活動の影響」が挙げられました。部活動の地域移行は、教職員の生命・健康を左右する問題であり、県教委が明確なビジョンを持ち、市町村と共に確実に実現するよう求めました。

心もからだもあたたかく ～県教組たき火トーク～



11月29日、藤沼湖自然公園（須賀川市）において、「県教組たき火トーク」を開催しました。かつて青年部で開催した行事がきっかけとなり、今では県教組全体のイベントとして開催しています。昨年は台風の接近により中止としたため、2年ぶりの開催でした。家族参加や組合未加入者も含め、県内各地から参加者が集まりました。

当日は、湖をぬける秋風が

心地よい快晴に恵まれました。参加者の自己紹介のあと、豚汁や焼き肉などをみんなで味わい、たき火を囲んでのグループトークを行いました。

暖かいたき火が自然と緊張をほぐし、職場のことや家庭のこと、自分自身のことなど、たくさんの話題が挙げられました。



たき火トークには初めて参加しました。大自然の中でゆっくりとたき火を囲みながら、他の学校の先生方と交流できました。校種や年代をこえて悩みや相談を聞いてもらい、落ち着いた雰囲気の中でリフレッシュすることができました。屋外で味わうあたたかい食事も、とても美味しかったです。



まだまだ知られていないイベントだと感じました。次回もあればぜひ参加し、たくさんの方々と交流したいと思います。

(岩瀬支部・宗像瞳真さん)

4歳の娘と2人で参加しました。初めは緊張している様子の娘でしたが、参加者の皆さんに優しくしてもらい、マシュマロをもらってたき火で焼いて食べるうち、緊張も和らいだようで、秋の外遊びを満喫していました。

私は他地域の学校の先生方と話をし、それぞれの学校や地域の現状や辛さ、頑張っていることを語り合うことができました。新たなつながりができる素敵なものだと思いました。



(福島伊達支部・中島史弥さん)



吉田書記次長の ぶくしまオルグ紀行⑯

今回は、昨年度加入してくれた仲間の声を掲載します。「組合って大切」と感じてもらえることも、オルグの大切な目的です。

Sさん（いわき支部・小学校教員）



①「組合に入ろう」と思ったきっかけは？

「採用後すぐ、支部の交流会に参加しました。会の雰囲気がよかったですと、他の職場の人にたくさん話を聞いてもらえた嬉しさが加入のきっかけです。」

②今のお仕事をめざしたきっかけは？

「元々、子どもと関わることが好きでした。小学校でお世話になった先生がいつも応援してくれていた姿勢も、教員をめざすきっかけになった気がします。」

③これから、どんな学校（職場）になってほしいと考えますか？

「新任の時は不慣れで余裕もなく、保護者の問い合わせ対応に追われ、いつ電話が来るのかという不安もありました。そうした対応に追われない、余裕のある職場だといいなと感じます。」

組合に入ってよかったことを尋ねたところ、「行事に行くとたくさん声をかけてもらいます。一人じゃないんだなと心強くなります。」とのことでした。組合員ならではのつながりを今後も感じていただけたらうれしいです！

新春プレゼント企画! クロスワードパズル

県教組組合員のみなさま、本年も大変お世話になりました。日頃の感謝の気持ちを込めて、毎年恒例の新春プレゼント企画を開催いたします! クロスワードパズルの正解者の中から抽選で、豪華賞品をプレゼントいたします! 新春プレゼント企画でリフレッシュしていただければと思います♪みなさま、どうぞ良いお年をお迎えください。



「あづま荘」ペア宿泊券! 5組 10名様

公立学校共済組合飯坂保養所 飯坂温泉あづま荘様のご厚意によります。
その他、豪華商品（提供：教職員共済様、弘済会様他）も当たります!!

応募方法

ハガキまたは県教組LINE公式アカウントへのメッセージでご応募ください。
①□に入るキーワード ②支部名 ③分会名 ④名前 ⑤県教組への一言 を記入。

公式LINE
はこちら!



2026年1月13日(火) 必着

※当選者の発表は、各分会への景品発送に代えさせていただきます。

宛先 〒960-8134
福島県福島市上浜町10番38号
福島県教職員組合 宛

33	32	30	28	25	24	22	21	19	17	16	14	12	10	9	8	6	5	4	3	2
豆乳を煮立て表面にできる膜																				
使う道具。	使う道具。																			
人口が多く、商工業や文化活動が盛んな大きな街。																				
髪の毛をすいたり整えるため	髪の毛をすいたり整えるため																			

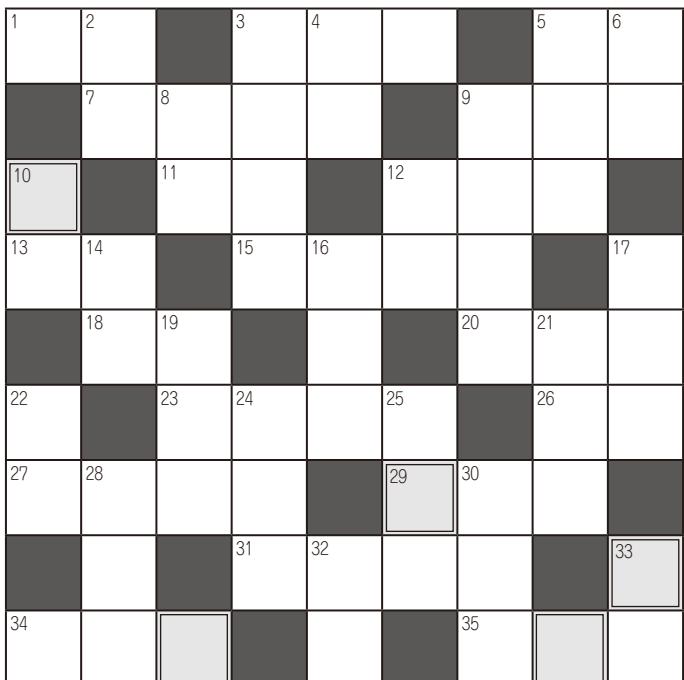
1	2	3	4	5	6
7	8			9	
10		11		12	
13	14		15	16	
18	19			20	21
22		23	24	25	26
27	28			29	30
		31	32		33
34				35	

ヨコのカギ→

- 衣服などの下の方の地面に近い部分。山のふもと。
- 遠回りすること。自然災害や工事等でさせられることが多い。
- 東から吹いてくる風。
- 相撲部屋独特の鍋料理。大量の魚介・肉・野菜を大なべで煮ながら食べるもの。
- たくさんの珠（たま）を糸に貫いて輪にしたもの。
- 「〇〇の寒恋い」 意味：（冬を嫌う〇〇でも、さすがに真夏には冬の寒さを恋しがるということ。）
- 物事のはじめの時期。はじまって間もないころ。
- ある人やある国が持っている単語の総体のこと。
- うずを巻くこと。うずを巻いている形や模様。
- 球形をした鳴り物。
- 火力の弱い火。とろ火。
- 手先を使ってする、こまごまとした細工。
- 動物が口や鼻で吸ったりはいたりする空気。
- 学校で一定の資格をもって児童・生徒・学生などの教育にあたる人。
- 布の袋の中にわたなどを入れて、ねるときやすわるときに使う物。寒さに応じて枚数が増える。
- 学校や仕事などの休み。
- 物事を行う際に守らなければならない決まり。規定。
- 銀・銅などの金属に硫黄のすすで曇りをつけること。「〇〇銀」

タテのカギ↓

ある事態の始末をつけるため
に必要な手続きをとること。
決められた道を進んで行くこと。
過ぎ去った時間。むかし。



[提供元: クロスワード.jp]

□に入る文字を並べ替えてできるキーワードはなんでしょう?

<input type="text"/>				
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------